

# 北九州市

## 精神科病院と相談支援事業所の 更なる連携を目指して

北九州市では、平成26年から、精神科病院、相談支援事業所、基幹相談支援センター、精神保健福祉士協会、行政の関係者により構成された「精神障害者地域移行連携協議会」を年に数回実施する等、精神障害者の地域移行の取り組みを実施している。

また、精神障害者の地域移行を推進するため、平成26年から医療従事者、相談支援事業者、福祉関係の行政職員等を対象に「精神障害者地域移行研修」を年2～3回開催する等、人材育成やネットワークの構築を行っている。

## 1 県又は政令市・特別区の基礎情報

### 北九州市



#### 取組内容

##### 【人材育成の取り組み】

- ・「精神障害者地域移行研修」の開催
- ・「精神保健福祉基礎研修」の開催
- ・「ピアサポーター養成講座」の実施
- ・「指定相談支援事業等連絡会議」の開催

##### 【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・「北九州市精神障害者地域移行連携協議会」の開催
- ・「北九州市精神保健医療福祉連絡会議」の開催
- ・「ピアサポーター活動」の実施
- ・「障害者地域生活支援研究会」の開催

### 基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R2年4月時点）	1	か所
市町村数（R2年4月時点）	1	市町村
人口（R2年1月時点）	939,450	人
精神科病院の数（R2年4月時点）	18	病院
精神科病床数（R元年6月時点）	4,159	床
入院精神障害者数 （R元年6月時点）	合計	3,474 人
	3か月未満 （％：構成割合）	696 人 20.0 ％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	605 人 17.4 ％
	1年以上（％：構成割合）	2,173 人 62.6 ％
	うち65歳未満	1,110 人
	うち65歳以上	2,364 人
退院率（H29年6月時点）	入院後3か月時点	61.0 ％
	入院後6か月時点	78.0 ％
	入院後1年時点	85.0 ％
相談支援事業所数 （R2年8月時点）	基幹相談支援センター数	1 か所
	一般相談支援事業所数	31 か所
	特定相談支援事業所数	88 か所
保健所数（R2年4月時点）	（自立支援）協議会の開催頻度 （R元年度）	1 か所
	（自立支援）協議会の開催頻度 精神領域に関する議論を行う部会の有無	22 回/年
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R2年3月時点）	都道府県	有・無
	障害保健福祉圏域	有・無
	市町村	有・無

※退院率は、平成29年度より圏域のみで抽出

北九州保健医療圏（北九州市、中間市、芦屋市、水巻町、岡垣町、遠賀町）の集計値（厚生労働省の調査結果の公表方法が変更され、本市単独で退院率を算出することができなくなったため）

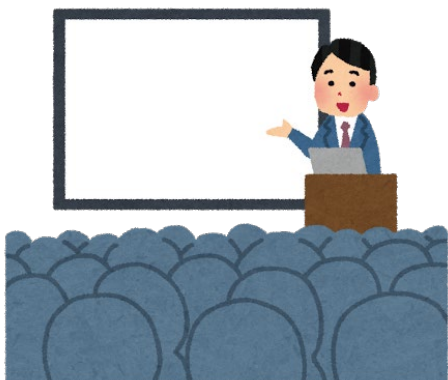
## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### ① 「精神障害者地域移行研修」の開催

#### 取組

- ・医療機関、相談支援事業所、行政機関の従事者を対象に開催
- ・医療機関や相談支援事業所のスタッフ、ピアサポーターによる長期入院の精神障害者の地域移行に関する事例提供の実施
- ・多機関、多職種（精神保健福祉士、看護師、作業療法士、保健師等）によるグループワークの実施

事例提供



グループワーク



## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### ②精神科病院における長期入院患者に関する情報共有及び地域移行支援の制度制説明、助言を実施

#### 取組

・精神科病院16病院に広報・周知活動を行い、精神保健福祉士や作業療法士から本事業に関する意見を聴取した。また、長期入院患者に関して情報共有を行い、地域移行支援に関する制度説明や助言を行った。

### ③相談支援事業所への地域移行に関するアンケート調査

#### 取組

・平成30年度に地域移行支援に携わった相談支援事業所9事業所に対しアンケート及び聞き取りを行うことで現状把握を行った。その後、アンケート結果について、各相談事業所と情報共有を行った。

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

#### 【平成20年度～】「北九州市精神保健医療福祉連絡会議」(年数回開催：相談支援事業所主催)

- ・ 構成：9名 精神科病院の医師、大学の学識経験者、障害者基幹相談支援センターの職員  
相談支援事業所の職員、家族会のスタッフ、行政の精神保健担当職員
- ・ 内容：ピアサポーターの活動報告、情報提供、意見交換 等

#### 【平成21年度～】「ピアサポーター講演」(年数回開催：相談支援事業所主催)

- ・ 場所：精神科病院、大学、高齢者施設、看護専門学校、精神保健福祉研修会 等
- ・ 内容：長期入院後地域移行した精神障害者の体験談の話 等

#### 平成25年度「改正精神保健福祉法」成立

#### 【平成25年度】「改訂精神保健福祉法に関する業務従事者研修」(4名参加)

- ・ 研修参加者を中心に精神障害者の地域移行の「実行委員会」立ち上げ準備
- ・ 委員選定にあたって「北九州地区精神保健福祉士会」等、団体への働きかけ実施

#### 【平成26～令和元年度】「北九州市精神障害者地域移行連携協議会」(年数回開催)

- ・ 構成：11名 精神保健福祉士協会役員、精神科病院の精神保健福祉士、  
障害者基幹相談支援センターの職員、相談支援事業所の職員、  
各区保健福祉課・精神保健福祉課・精神保健福祉センターの行政職員
- ・ 内容：精神障害者の地域移行の現状把握や取り組み検討、研修の企画 等

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<令和元年度までの成果・効果>

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R元年度当初)	実績値 (R元年度末)	具体的な成果・効果
①令和2年度末の一年以上長期入院患者数 65歳以上	1,250人以下 (R2年度末)	1,552人 (H30年6月)	
②令和2年度末の一年以上長期入院患者数 65歳未満(目標)	766人以下 (R2年度末)	703人 (H30年6月)	
③入院後3か月時点の退院率	61%以上 (R2年度末)	61% (H29年度) (北九州圏域)	
④入院後6か月時点の退院率	83%以上 (R2年度末)	78% (H29年度) (北九州圏域)	
⑤入院後1年時点の退院率	90%以上 (R2年度末)	85% (H29年度) (北九州圏域)	

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

1. 医療従事者、相談支援専門員、行政職員等が一同に集う研修の開催している
2. 研修の事例提供やグループワークによりスキルアップやネットワーク構築を図っている
3. 研修にて当事者からの事例発表を行う等、ピアサポーターの活動を支援している

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	医療側
地域移行について精神科病院と相談支援事業所とのつながりが十分でない	・地域移行研修の開催により顔の見える関係づくり	研修内容の検討、研修案内	多職種での参加、病院での取り組みの共有
		研修への参加	

課題解決の達成度を測る指標	状値 (今年度当初)	目標値 (令和2年度末)	見込んでいる成果・効果
①地域移行研修の開催	2回/年	2回/年	研修参加が連携の機会となるため
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R2年12月	精神保健福祉審議会の開催	令和5年度末までの成果項目及び成果指標の設定
R3年1月	地域移行研修の開催	